



教科名： 整備機器取扱 I

2023年度

講義

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 1年 前期

科目： 機器の構造・取扱い

時限数： 14時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/23	中野
FY19			
FY20	内容確認 変更なし	3/10	合田
FY21			
FY22	内容確認 変更なし	3/19	村上
FY23	シラバスメンテナンス	6/1	合田

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科			2023年度 授業計画		
時期	1年前期	単元	講義	教科名	整備機器取扱 I
科目	機器の構造・取扱い	教科書等 持参品	自動車整備工具・機器 基礎自動車整備作業		発行日 2019/1/23新規
※ 注1 総時限	14時限		安全テキスト		教科担 葛山 忠彦
※ 注1 授業時間	22.4時間			当	※ 注2 ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース）					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として整備機器取扱の実務経験がある教員により整備機器の構造・役割・作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
①自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
①作業工具の取り扱い方法及び保守について理解し説明できる。 ②切削、研削工具の取り扱い方法及び保守について理解し説明できる。 ③自動車整備における計測作業の必要性、重要性を理解し説明できる。 ④一般測定器の取り扱い方法及び保守について理解し説明できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：(工学科70点以上・整備科60点以上) 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。 					
5. 準備学習					
・自動車整備工具・機器、基礎自動車整備作業、安全テキストの該当項目を読み予習を行う。					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
①作業工具を安全に正しく作業し、保守管理させる。 ②切削、研削工具を安全に正しく作業し、保守管理させる。 ③自動車整備における計測作業の必要性、重要性を理解させる。 ④一般測定器で安全に正しく計測し、保守管理させる。					

